



校長室だより

Newsletter from the Principal پرنسپل کی طرف سے نیوز لیٹر

行き詰まりを打開する！6つの『動物のレンズ』

物事がうまく進まないとき、6種類の動物の視点（レンズ）を通して見ることで、新しいアイデアや解決策を見つけることができます。それぞれの動物が持つ独自の見方を紹介します。



鳥のレンズ：
全体をふかんする
一歩引いて遠くから見ることで、全体の様子をつかみます。

視点を『広げる』・『深める』

考え方を『変える』・『感じる』

蝶のレンズ：
今を捨てて進化する
今までのやり方を思い切って捨てて、新しい自分になります。



虫のレンズ：
細かく分けて掘り下げる
物事をバラバラに分けてみることで、深いところまで探ります。

コウモリのレンズ：
反対から考える
逆さまの立場や、反対の方向から物事を見つめ直します。



魚のレンズ：
変化と流れを読む
今何が起きているか、これからどう動かの流をつかみます。

モグラのレンズ：
五感で感じる
目で見ようとせず、体の感覚や心で全体を感じ取ります。



「新しい靴を履きこなすように」

新堀 隆久

新学期が始まり、新しい教科や先生に慣れてきた頃でしょうか。先生方からも、みなさんが頑張っている話を耳にすることが多く、嬉しく思っています。

もしかしたら、「去年のやり方と違う…」と戸惑うこともあるかもしれません。でも、その「違和感」こそが成長のチャンスです。新しい環境に馴染むまでは、新しい靴を履いた時のように少し足が疲れるもの。でも、履きこなせば、今までよりずっと遠くまで走れるようになります。

まずは1ヶ月、自分のペースで「新しい当たり前」を作っていきましょう。もし「歩きにくいな」と感じたら、いつでも相談に来てください。皆さんの歩みを、先生たち全員で見守っています。

創刊号では私の趣味が少林寺拳法やサッカー観戦だと紹介しました。部活動もスポーツも学びも、毎日の積み重ねが大切です。「今日の一日を大切に」という校訓を胸に、一日一日を丁寧に過ごし、必ず振り返りをして明日につなげましょう。GWにもし時間が取れるなら、「自分はどんな人になりたいか」をゆっくり見つめ直す良い機会です。他人のものさしではなく、自分の意志で目標を決めることが、自らの人生の舵取りに繋がります。